

～ 福岡日伊協会映画鑑賞会のご案内 ～

第167回上映作品

追悼ラウラ・アントネッリ

『青い体験』

Malizia

「ヴィーナスの体をしている」と巨匠ルキノ・ヴィスコンティ監督に言わしめたラウラ・アントネッリさんが今年6月22日、心臓発作のため亡くなりました。

1941年イタリア領ポーラ(現クロアチア、プーラ)で生まれ、幼少期に家族と共にナポリに移住する。体育教師になるつもりだったが、テレビシリーズに数回出演した後、1965年に数本の映画に脇役として出演し、1969年マゾッホ原作マッシモ・ダラマーノ監督の「毛皮のヴィーナス」で初めての主演を演じる。彼女の美しいヌードを見せた最初の作品で、セクシーな役でヨーロッパ中に知られるようになった。次の「コニャックの男」で共演したジャン・ポール・ベルモンドと恋仲となり、10年ほど続く。1973年、サルヴァトーレ・サンペリ監督の中学生の少年に初体験をさせるメイド役を演じた「青い体験」が、本国イタリアをはじめヨーロッパ、アメリカ、日本で大ヒット。ナストロ・ダルジェント主演女優賞を受賞する。その後、ヴィスコンティ監督の遺作「イノセント」やエットーレ・スコラ監督「パッション・ダモーレ」などの名匠の作品に出演し、世界的人気を獲得した。

「青い体験」は若く美しいメイドに憧れる思春期の少年の性の目覚めと屈折した感情をコミカルに描いた青春映画です。この作品をアントネッリさんの追悼とさせていただきます。

(解説：湯越勘一氏)

※ 20時以降 美術館は閉館につき入館できませんのでご注意ください。

※ 館内での飲食は厳禁ですのでご注意ください。

データ

原案・監督	／ サルヴァトーレ・サンペリ	出 演	／ ラウラ・アントネッリ
脚 本	／ S. サンペリ		アレックスandro・モモ
	オッタヴィオ・ジェンマ		トウーリ・フェッロ
	アレックスandro・パレンツォ	音 楽	／ フレッド・ボングスト
撮 影	／ ヴィットリオ・ストラローロ	美 術	／ エッジオ・アルティエーリ
製 作	／ シルヴィオ・クレメンティリ		

1973年 98分

記

日 時：2015年10月2日(金) 19:00～21:00

会 場：あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL092-263-1100

(福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル)

入場料：無 料 先着120名(直接会場へお越しください)

問合せ：福岡日伊協会 担当 井口

TEL 092-476-2153 (西日本シティ銀行内)

★ 今後の上映予定 ★

2015年11月26日(木) 19:00 あじびホール
ロベルト・ロッセリーニ監督作品「ローマで夜だった」